

住友理工、産業用ホース事業を再編

～京都事業所を新設、TRI 京都との一体運営で事業基盤を強化～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は、産業用ホース事業の基盤強化を目的として、今年 10 月 1 日付で京都府綾部市に京都事業所を新たに設置し、これまで小牧製作所（愛知県小牧市）に置いていた産業用ホース事業部の運営拠点を同事業所に移転することを決定しましたので、お知らせいたします。これと同時に、2013 年 12 月に同市に設立した産業用ホース製造子会社、株式会社 TRI 京都（略称：TRK）へ同事業を移管するとともに、TRK の商号を「株式会社住理工ホーステックス」（略称：SRK-HT）（仮称）へと変更する予定です。SRK-HT は今後、グローバル展開におけるマザー工場として、同事業を主体的に推進する役割を担うとともに、京都事業所、SRK-HT とが一体となり、スピーディーで効率的な事業運営を図ります。



京都府綾部市に立地する TRK

戦前より続く当社の産業用ホース事業は、1971 年に産業用大口径超高压ホースの製造に着手、1990 年代には極細ワイヤーを業界で初めて採用した超軽量・柔軟な高压ホースを開発するなど技術革新を続けてきました。当社製品は建設現場やプラントなどで広く用いられ、産業の基盤づくりには欠かせない役割を果たしています。近年は小牧・松阪両製作所で製造してきましたが、TRK の設立を機に現在、全生産ラインの TRK への移設を進めています。今回、会社分割※により、10 月 1 日付で同事業全体を TRK に承継させ、移管・統合することで、グループの経営資源の集約と事業基盤の強化を実現し、意思決定の迅速化や「住友理工ブランド」でのグローバル拡販を図ります。

国内では 2020 年夏に開催を控える東京五輪、2027 年に開業を目指すリニア中央新幹線など社会インフラの大規模な整備が進む中、当社グループは、これらに使用される産業用ホース需要の高まりを見込んでいます。また、これまでに参入できていなかった欧米市場などでの販路開拓とシェア拡大が急務となっており、開発から製造、販売、そしてアフターサービスまでを京都事業所および SRK-HT で一体的かつ効率的に管理することにより、工程の大幅短縮やコスト削減などをさらに推進、収益力の高い事業構造を構築し、競争力の高い高品質な製品を供給してまいります。

※2016 年 3 月 24 日付発表の当社適時開示をご参照ください。

＜住友理工の概要＞

名 称 : 住友理工株式会社
所 在 地 : (グローバル本社) 名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 1 号 J P タワー名古屋
(小牧本社) 愛知県小牧市東三丁目 1 番地
事業内容 : 自動車用品(防振ゴム、ホース、制遮音品・内装品)および一般産業用品(精密樹脂ブレード・ロール、車両用・住宅用・橋梁用・電子機器用防振ゴム、高圧ホース・搬送用ホース、ゴムシール材など)の製造・販売
資 本 金 : 121億45百万円
創 業 : 1929年12月
親 会 社 : 住友電気工業株式会社
従業員数 : 23,568人(連結、2015年3月現在)
売 上 高 : 4,009億30百万円(同、2015年3月期)



産業用ホース(高圧ホース)

＜TRI 京都の概要＞

名 称 : 株式会社 TRI 京都
(10月1日付で「株式会社住理工ホーステックス」に商号変更予定)
所 在 地 : 京都府綾部市とよさか町 1 番地
事業内容 : 各種産業用ホース(液圧用・布巻ホース等)および関連製品の製造・販売
設 立 : 2013年12月
資 本 金 : 10億円
出資比率 : 住友理工株式会社 100%
代 表 者 : 代表取締役社長 立田力三
(住友理工株式会社 取締役常務執行役員 産業資材事業本部長)
従業員数 : 約130人(2016年3月現在)、約230人(2018年度計画)
工場面積 : 敷地 約130,000m²、建屋 約71,000m²
売 上 高 : 約100億円(2018年度計画)

以 上